

職種別賃金管理制度の導入セミナー

従来の人事制度は、集団のパワーを活かすことを指向してきた為に、明らかに社員間で仕事の違いがありながらも、処遇制度は「全社一律的管理方式」を主に採用してきました。或いは、表面的に全社一元的・同質的な管理方式としながら、運用面で社員間の仕事の差反映や格差の調整をしてきました。しかし、能力主義の深化や成果主義的展開を考慮すると、社員間の仕事の違いや個々の仕事の特性を抜きにした「一律的処遇体系」では、厳しい企業環境を乗り切るには危ういものがあることに気付きます。

現実には、複線の処遇（総合職・一般職等）が展開されてきてはいますが、従来の枠の中で処理されるケースが散見されます。本セミナーでは、「職種別」（仕事グループ別）という切り口から、処遇を中心とした人事管理制度を再構築する為の視点を講義します。

日 時 平成14年9月4日（水） 10：00～16：30

会 場 (株)日本総合研究所 東京本社1Fセミナールーム
(東京都千代田区一番町16番：半蔵門線半蔵門駅より3分・有楽町線麹町より7分)

受講料 ・1名様につき 受講料20,000円、消費税1,000円、合計21,000円（資料代・昼食代含）
・2名様以上の場合は、1名につき18,900円（消費税900円含）

講 師 (株)日本総合研究所 研究事業本部 人事戦略クラスター
クラスター長・主席コンサルタント 小林 英 夫
主任コンサルタント 石 川 洋 一

セミナープログラム

1. 人事管理制度の課題と職種別処遇の考え方
2. 職種の区分・編成の考え方
 - (1) 職種の括り方
 - (2) 人材管理フレーム・職能等級フレームの組立
3. 賃金制度の設計
 - (1) 職種に対応した基本給組立の種類と特性
 - (2) 一般層部分について
 - (3) 管理職層部分について
4. 事例
5. 自社導入検討ポイントの考察

※当日、人事制度見直しに関連したご質問・相談をお受けいたしますのでご利用下さい。

